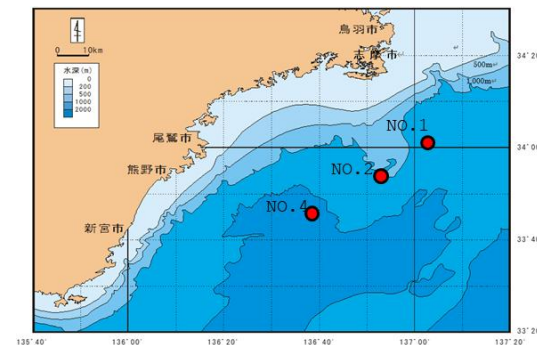


浮魚礁について

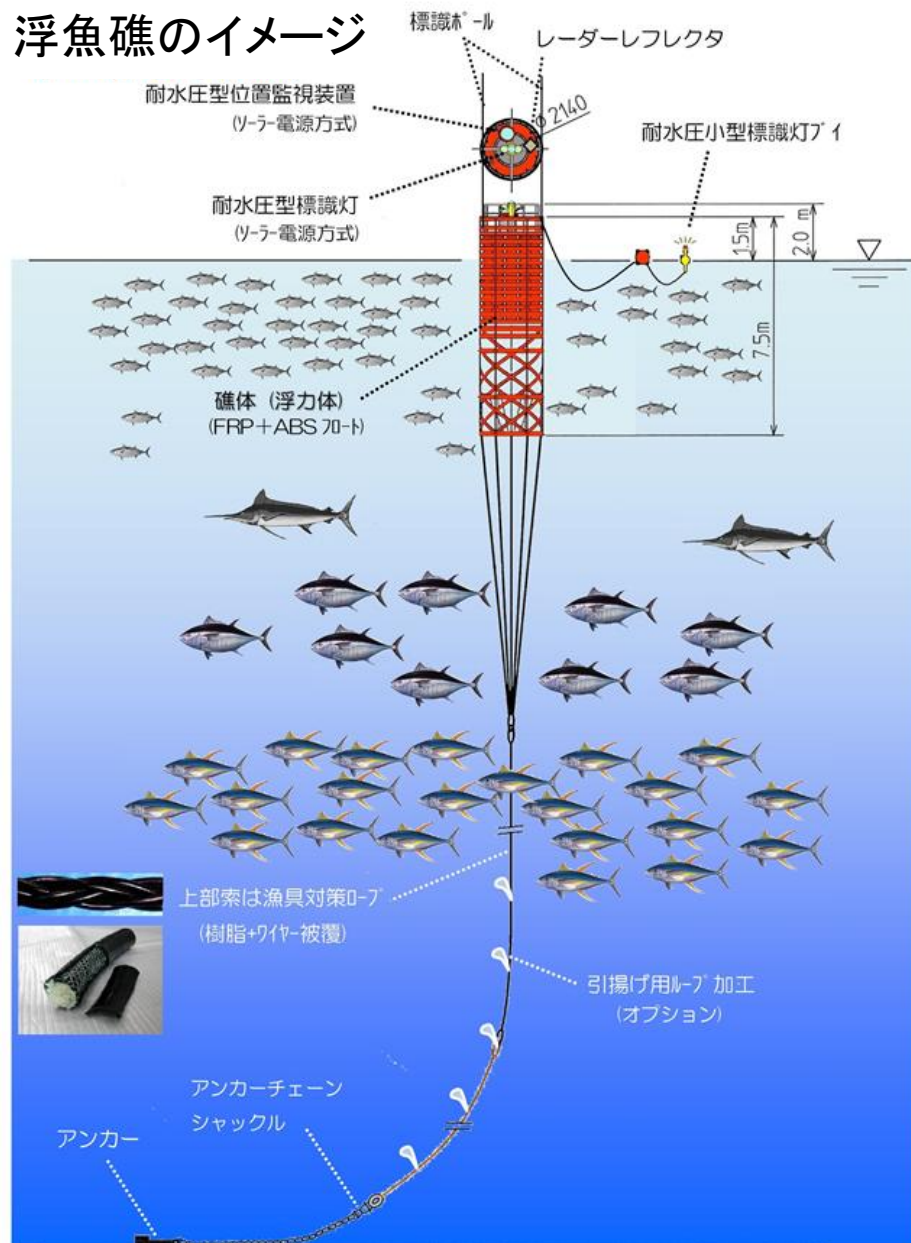
- 1. 浮魚礁の概要
- 2. 浮魚礁の効果
- 3. 今後の取組方針



三重県農林水産部水産基盤整備課

浮魚礁とは

浮魚礁のイメージ



カツオやマグロなどの回遊魚が
流木などの漂流物に集まる習性
を利用した浮体式の魚礁

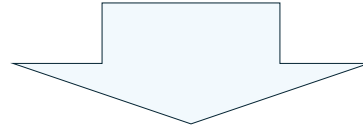


海面に浮かぶ浮体

三重県における浮魚礁の設置

【熊野灘海域における回遊魚を対象とした漁業】

- カツオ・マグロ類、シイラ等の回遊魚を対象とした曳縄や一本釣漁業の操業が盛ん
- 特定の漁場はなく、黒潮流路等を参考に出漁時には漁場を探索する必要あり



【漁業者による簡易型浮魚礁の設置】

- 県内の漁業者が、回遊魚を集魚・滞留させて漁獲効率の向上をはかるため、簡易型浮魚礁(パヤオ)を設置
- 木や竹で作られており、台風等の荒天で破損・流出するため、毎年設置が必要



パヤオのイメージ
(R2年度 紀伊長島で再現されたもの)

三重県が設置している浮魚礁

【目的】

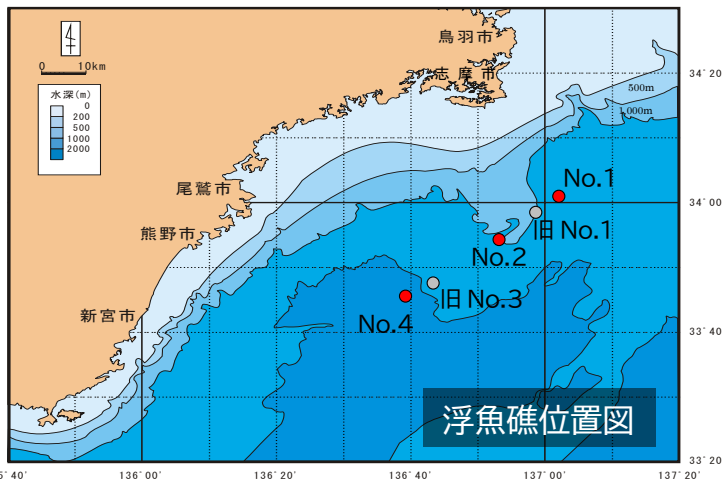
- ・ 台風等の高波浪に耐えられる浮魚礁を設置し、回遊魚を集魚、滞留させることで、漁獲効率の向上を目指す

【設置の考え方】

- ・ 漁業者が設置してきたパヤオの漁獲状況を参考に、漁場利用の頻度が高い海域に4基配置（大型船舶の航行にも配慮）

【設置状況】

- ・ 平成19年度～22年度、浮魚礁4基を設置
- ・ その後、平成23年度までに3基流出、平成24年度に1基再設置し、2基体制でしばらく運用
- ・ 令和2年度に1基、令和5年度に1基更新
- ・ 今年度、1基を増設し、3基体制での運用を開始

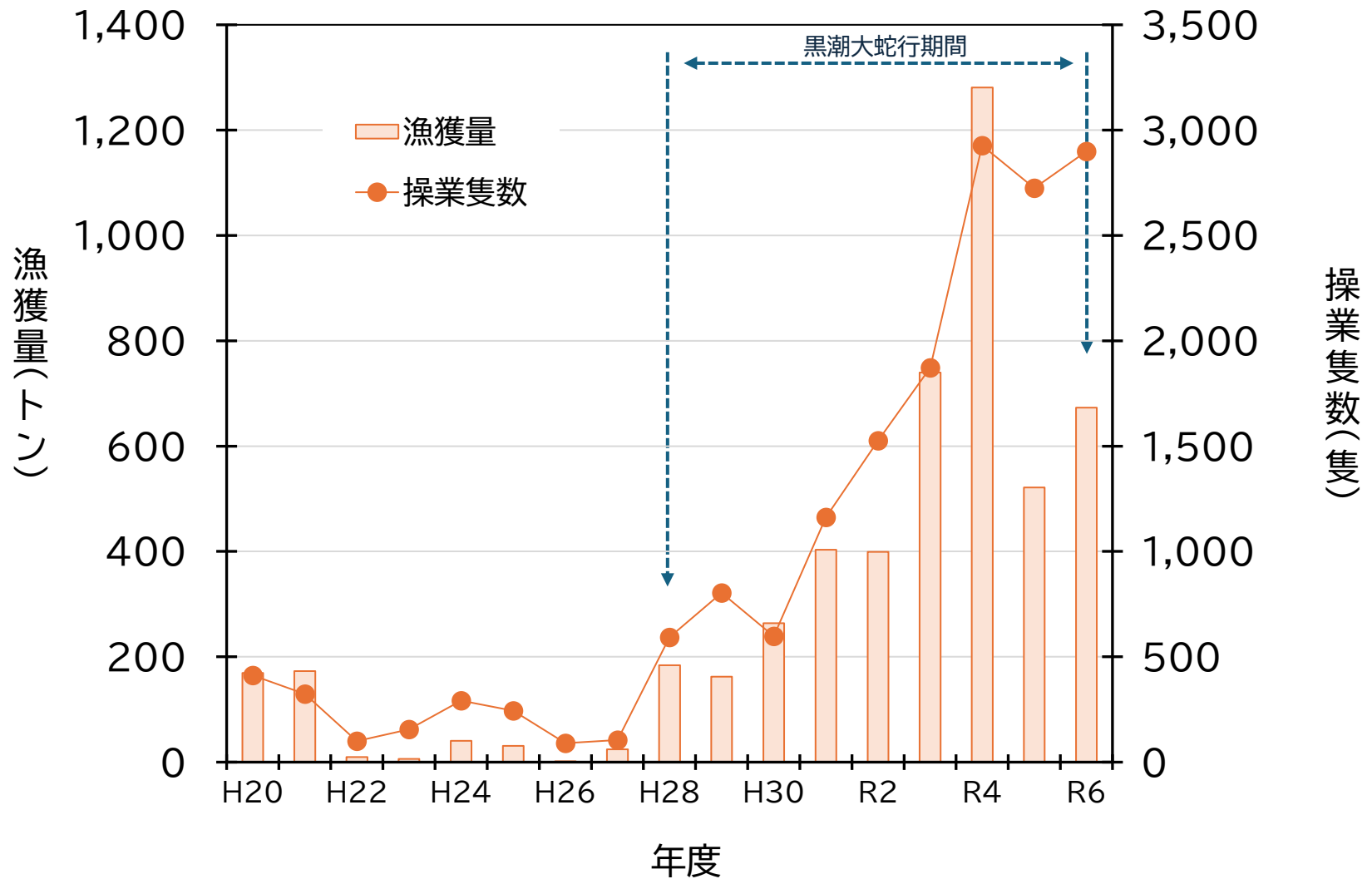


事業実績

浮魚礁	事業名 (国補)	設置年月	事業費 (億円)
No.1	水産環境整備事業	R7.8	1.7
No.2	水産環境整備事業	R5.4	1.4
No.4	水産環境整備事業	R3.3	2.0

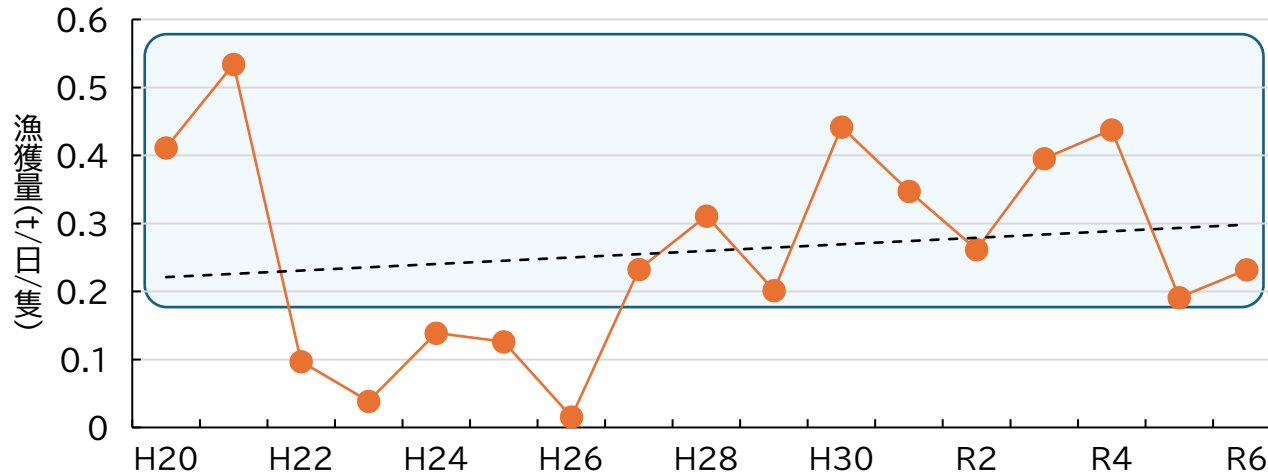
浮魚礁の効果

浮魚礁における漁獲量・操業隻数

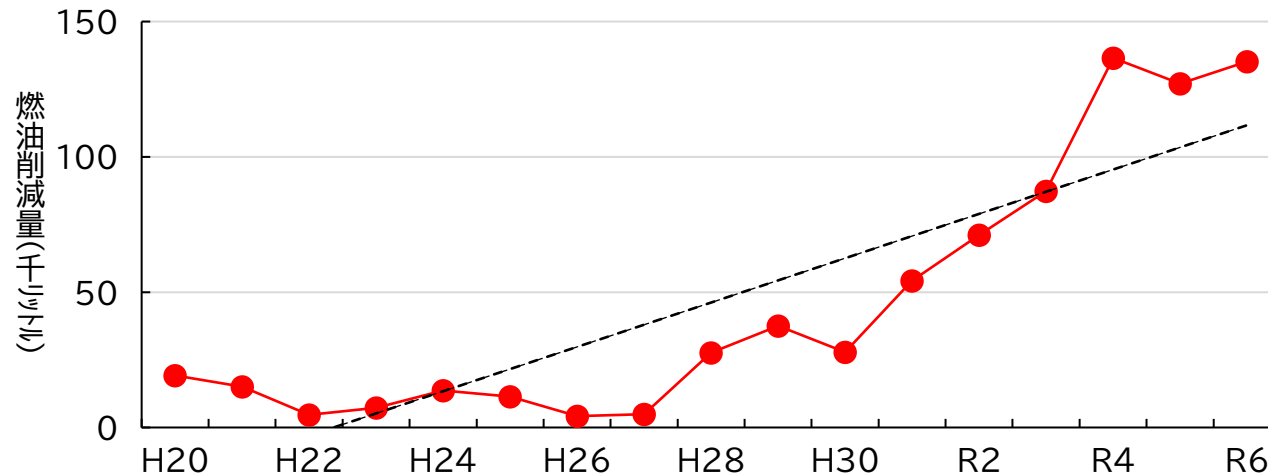


浮魚礁の効果

浮魚礁での1隻・1操業あたりの漁獲量(平均)



浮魚礁での操業における燃油削減量推定値(操業隻数の累計値)



浮魚礁での1隻・1操業あたりの推定値
漁場探索の削減時間 3時間
燃油削減量 46.6L

浮魚礁の集魚効果

カツオの群れ(点線内)

【操業の支援】

漁場水温や位置情報

→ HPで確認可能

三重県浮魚礁利用調整協議会

県は、浮魚礁の維持管理を「三重県浮魚礁利用調整協議会」に委託

【三重県浮魚礁利用調整協議会とは？】

- 鳥羽市以南の市町と漁協が会員（事務局は三重県水産振興事業団）
- 市町と漁協の会費と利用者の利用料により浮魚礁の維持管理及び運営を行う

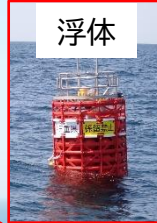
【浮魚礁の追加設置要望について】

- R4年12月、同協議会から2基の追加要望が出され、漁業者間の調整が整ったNo.1について、国事業を活用してR7年8月に設置。
- もう1基については、過去に浮魚礁の設置実績がない海域での設置要望のため、集魚効果の把握が必要。他にも他漁業や船舶関係団体との調整などの課題あり。
（現在、同協議会による漁業者間調整が図られている。）

浮魚礁での操業

操業風景

浮体



【操業方法】

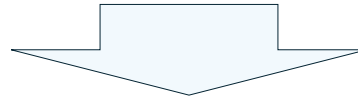
浮体を中心にして、同心円を描く
ように操船して曳縄釣りを行う



今後の取組方針

【課題】

- 3基の浮魚礁の維持管理
- 浮魚礁の秩序ある利用の継続
- 追加の設置要望への対応



【今後の対応】

- 3基の浮魚礁について、維持管理及び更新を行っていきます。
- 三重県浮魚礁利用調整協議会とともに、浮魚礁の秩序ある利用を推進します。
- 追加要望の1基については、同協議会による他漁業との協議のほか、さまざまな課題への対応を進めるなど、検討を進めます。



浮魚礁の設置と適切な運用を行うことにより、
熊野灘において営まれる漁船漁業を支援します。